

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】令和 5 年 11 月 28 日 (2023.11.28)

【公開番号】特開 2023-118765 (P2023-118765A)

【公開日】令和 5 年 8 月 25 日 (2023.8.25)

【年通号数】公開公報 (特許) 2023-160

【出願番号】特願 2023-100459 (P2023-100459)

【国際特許分類】

H 0 4 N 19/12 (2014.01)

H 0 4 N 19/157 (2014.01)

H 0 4 N 19/176 (2014.01)

H 0 4 N 19/70 (2014.01)

【F I】

H 0 4 N 19/12

H 0 4 N 19/157

H 0 4 N 19/176

H 0 4 N 19/70

【手続補正書】

【提出日】令和 5 年 11 月 17 日 (2023.11.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

デコーディング装置により実行される映像をデコーディングする方法において、
ビットストリームから予測モード情報及びレジデュアル関連情報を取得するステップと

、
前記予測モード情報に基づいて予測を実行して現在ブロックの予測サンプルを導出する
ステップと、

前記レジデュアル関連情報に基づいて前記現在ブロックのレジデュアルサンプルを導出
するステップと、

前記予測サンプル及び前記レジデュアルサンプルに基づいて前記現在ブロックの復元サ
ンプルを生成するステップと、を含み、

前記現在ブロックのサイズ及び最大変換スキップサイズに基づいて、前記レジデュアル
関連情報は、変換スキップフラグを含み、

前記変換スキップフラグは、前記現在ブロックに変換スキップが適用されたかどうかを示し、

前記最大変換スキップサイズに対する情報は、前記ビットストリームから取得され、

前記最大変換スキップサイズに対する情報は、ピクチャパラメータセットまたはシーケ
ンスパラメータセットの一つに含まれ、

前記ピクチャパラメータセットまたは前記シーケンスパラメータセットの一つは、前記
変換スキップが有効であるか否かに関連する変換スキップ有効フラグを含み、

前記最大変換スキップサイズに対する情報は、前記変換スキップフラグの値が 1 に等し
いことに基づいて、前記ピクチャパラメータセットまたは前記シーケンスパラメータセッ
トの一つに含まれる、方法。

【請求項 2】

10

20

30

40

50

前記最大変換スキップサイズに対する情報は、 $\log_2_transform_skip_max_size_minus\ 2$ シンタックス要素を含み、

前記最大変換スキップサイズは、数式

$$MaxTsSize = 1 < (\log_2_transform_skip_max_size_minus\ 2 + 2)$$

に基づいて導出され、

前記 $MaxTsSize$ は、前記最大変換スキップサイズを示し、前記 $\log_2_transform_skip_max_size_minus\ 2$ は、前記 $\log_2_transform_skip_max_size_minus\ 2$ シンタックス要素の値を示す、請求項 1 に記載の方法。

10

【請求項 3】

前記 $\log_2_transform_skip_max_size_minus\ 2$ シンタックス要素の前記値は、0 ~ 3 の候補値の一つによって示される、請求項 2 に記載の方法。

【請求項 4】

前記最大変換スキップサイズは、4、8、16 または 32 を含む候補サイズの一つとして導出される、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

命令を記憶する非一時的コンピュータ可読媒体であって、前記命令は、実行時に、デコーディング装置に、

20

ビットストリームから予測モード情報及びレジデュアル関連情報を取得するステップと

、
前記予測モード情報に基づいて予測を実行して現在ブロックの予測サンプルを導出するステップと、

前記レジデュアル関連情報に基づいて前記現在ブロックのレジデュアルサンプルを導出するステップと、

前記予測サンプル及び前記レジデュアルサンプルに基づいて前記現在ブロックの復元サンプルを生成するステップと、を含む動作を実行させ、

前記現在ブロックのサイズ及び最大変換スキップサイズに基づいて、前記レジデュアル関連情報は、変換スキップフラグを含み、

30

前記変換スキップフラグは、前記現在ブロックに変換スキップが適用されたかどうかを示し、

前記最大変換スキップサイズに対する情報は、ピクチャパラメータセットまたはシーケンスパラメータセットの一つに含まれ、

前記ピクチャパラメータセットまたは前記シーケンスパラメータセットの一つは、前記変換スキップが有効であるか否かに関連する変換スキップ有効フラグを含み、

前記最大変換スキップサイズに対する情報は、前記変換スキップフラグの値が 1 に等しいことに基づいて、前記ピクチャパラメータセットまたは前記シーケンスパラメータセットの一つに含まれる、非一時的コンピュータ可読媒体。

40

【請求項 6】

前記最大変換スキップサイズに対する情報は、 $\log_2_transform_skip_max_size_minus\ 2$ シンタックス要素を含み、

前記最大変換スキップサイズは、数式

$$MaxTsSize = 1 < (\log_2_transform_skip_max_size_minus\ 2 + 2)$$

に基づいて導出され、

前記 $MaxTsSize$ は、前記最大変換スキップサイズを示し、前記 $\log_2_transform_skip_max_size_minus\ 2$ は、前記 $\log_2_transform_skip_max_size_minus\ 2$ シンタックス要素の値を示す、請求項 5 に記載の非一時的コンピュータ可読媒体。

50

【請求項 7】

前記 `log2__transform__skip__max__size__minus 2` シンタックス要素の前記値は、0～3の候補値の一つによって示される、請求項 6 に記載の非一時的コンピュータ可読媒体。

【請求項 8】

前記最大変換スキップサイズは、4、8、16 または 32 を含む候補サイズの一つとして導出される、請求項 5 に記載の非一時的コンピュータ可読媒体。

【請求項 9】

命令を記憶するメモリを備えたデコーディング装置であって、前記命令は、実行時に、1 つまたはそれ以上のプロセッサに、

ビットストリームから予測モード情報及びレジデュアル関連情報を取得するステップと、

前記予測モード情報に基づいて予測を実行して現在ブロックの予測サンプルを導出するステップと、

前記レジデュアル関連情報に基づいて前記現在ブロックのレジデュアルサンプルを導出するステップと、

前記予測サンプル及び前記レジデュアルサンプルに基づいて前記現在ブロックの復元サンプルを生成するステップと、を含む動作を実行させ、

前記現在ブロックのサイズ及び最大変換スキップサイズに基づいて、前記レジデュアル関連情報は、変換スキップフラグを含み、

前記変換スキップフラグは、前記現在ブロックに変換スキップが適用されたかどうかを示し、

前記最大変換スキップサイズに対する情報は、ピクチャパラメータセットまたはシーケンスパラメータセットの一つに含まれ、

前記ピクチャパラメータセットまたは前記シーケンスパラメータセットの一つは、前記変換スキップが有効であるか否かに関連する変換スキップ有効フラグを含み、

前記最大変換スキップサイズに対する情報は、前記変換スキップフラグの値が 1 に等しいことに基づいて、前記ピクチャパラメータセットまたは前記シーケンスパラメータセットの一つに含まれる、デコーディング装置。

【請求項 10】

前記最大変換スキップサイズに対する情報は、`log2__transform__skip__max__size__minus 2` シンタックス要素を含み、

前記最大変換スキップサイズは、数式

$$\text{MaxTsSize} = 1 < (\log 2 _ \text{transform_skip_max_size_minus 2} + 2)$$

に基づいて導出され、

前記 `MaxTsSize` は、前記最大変換スキップサイズを示し、前記 `log2__transform__skip__max__size__minus 2` は、前記 `log2__transform__skip__max__size__minus 2` シンタックス要素の値を示す、請求項 9 に記載のデコーディング装置。

【請求項 11】

前記 `log2__transform__skip__max__size__minus 2` シンタックス要素の前記値は、0～3の候補値の一つによって示される、請求項 10 に記載のデコーディング装置。

【請求項 12】

前記最大変換スキップサイズは、4、8、16 または 32 を含む候補サイズの一つとして導出される、請求項 9 に記載のデコーディング装置。

10

20

30

40

50